

# 第50回日本口腔インプラント学会 記念学術大会開催のご報告

日時：令和2年9月19日(土)～25日(金)  
場所：Web 開催



井汲 憲治 (群馬県)

第50回日本口腔インプラント学会記念学術大会が2020年9月19日より25日までの7日間、オンデマンド Web 形式にて開催されました。

本大会のメインテーマは「インプラント治療 - これまでの50年、これからの50年 -」であり、今後の50年を見据えて学会の果たす役割・目標を「日本口腔インプラント学会・2020年宣言」として“国民の健康寿命延伸への貢献!”と掲げさせていただき、大会長を私が務めさせていただきました。

本大会テーマを達成するために企画されたセッションプログラムは56演題、全研修施設セッション72演題、研究発表プログラムは優秀研究発表20演題、歯科衛生士セッション11演題、歯科技工士セッション11演題、ポスター発表228演題、共催セミナー14演題を数え、発表演題は合計で412演題に上りました(過去最高の演題数でした)。

特に、田中 譲治会長の号令のもと、臨床研究会の会員から60近い多数の会員に発表をいただきました。コロナ禍の大変な時期に、発表のご準備いただいた臨床研究会の発表者に、敬意を表しますとともに深く感謝申し上げます。全研修施設の中で最も多い専門医を有するのが本研究会ですが、その臨床レベルの高さと、本研究会の大きな活力が広く示されたことと思います。

大会参加者数に関しましても、登録人数5,907名、市民公開講座(一般参加者など)1,171名であり、合計約7,100名と過去最高の参加者を数えることが出来ました。これに関しましても、多くの臨床研究会の先生方、そして歯科衛生士・歯科技工士・歯科助手の皆様参加を促進していただいた会員の先生方のご協力があったからこそと御礼申し上げます。

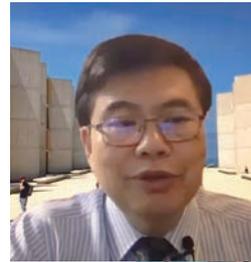
特別講演・特別シンポジウムはもちろん、インプラント臨床に関しましても、各分野の第一人者によるシンポジウムが多数開催されました。そして、全てのシンポジウムに於きまして、世界レベルの素晴らしいご講演とディスカッションが行われました。本大会では、日本補綴歯科学会、日本老年歯科医学会、日本顎顔面インプラント学会、日本歯周病学会、日本臨床歯周病学会、日本デジタル歯科学会、ICOI、日本臨床歯科学会等の、関連諸学会と共に多様なテーマに関してジョイントシンポジウムを開催することができました。これらのジョイント企画は我々が広い分野にわたるコネクションを有しているからこそ、初めて可能になったのだと思います。

日本歯周病学会・日本臨床歯周病学会とのジョイントシンポジウムの開催にご尽力いただきました武田朋子先生(日本臨床歯周病学会理事長)のご協力に感謝いたします。そして、故ブローネマルク先生とともに世界のインプラント学をリードしてこられた、アルブレクトソン先生をジョインセミナーに招聘いただきました鈴木仙一先生(ICOI 会長)に改めて感謝申し上げます。

この記念学術大会は、多くの日本インプラント臨床研究会の先生方のご協力があったからこそ成功裏に開催することができました。つきましては、2年間以上に渡り献身的にご協力いただきました本研究会の先生方、そして、全ての会員の皆様に改めて感謝申し上げます、大会開催のご報告といたします。

### 第2020年宣言 国民の健康寿命延伸への貢献！

1. 安全・確実なインプラント治療法の教育と普及をさらに推進します。
2. 口腔機能の維持・向上による健康寿命延伸のためのインプラント治療を探求します。
3. より質の高いインプラント治療を国民の皆様を提供するための専門医を育成します。
4. ライフステージに合わせたインプラントの治療法や口腔管理法を確立します。
5. インプラント治療に関連する領域の革新的テクノロジーの進歩に貢献します。



## 第50回 公益社団法人日本口腔インプラント学会記念学術大会

# 井汲大会長、田中会長の下 CISJ の総力を結集した 50回記念学術大会

日時：令和2年9月19日(土)～25日(金)  
場所：Web 開催



岩野 義弘 (東京都)

2020年9/19～25の日程で、井汲憲治大会長の下、公益社団法人日本口腔インプラント学会第50回記念学術大会が、学会史上初となるオンデマンドWEB形式にて成功裡に開催されました。

2018年に井汲大会長、田中実行委員長体制で学術大会の準備がスタートし、私は大会幹事を拝命してお二人を下支えさせていただく機会を賜りました。尊敬するお二方の、苦勞しながらもこれまでにない素晴らしい学術大会開催に向け努力され、着

実に実行していく姿を拝見し、感銘を受けるとともに色々勉強させていただきました。2018年10月8日に開催された第一回実行委員会から数えて、公式には15回、非公式には毎月サイエンス委員会の前に行われた会議、井汲大会長、田中実行委員長お二人での会議も含め数十回の会議を重ね、着々と準備が進められてきました。個人的には、初めて書籍の編集に携わる機会を頂き、クインテッセンス出版で山形様も含め4人で編集会議を行っていたころを

思い出し、懐かしくも緊張感のある充実した時間を過ごさせていただきました。

井汲大会長の人脈と決断力、田中実行委員長の熱意と実行力は本当に素晴らしく、特別講演からシンポジウム、共催シンポジウムに至るまで、インプラント学会史上類を見ない著名な講師陣による素晴らしいプログラムが完成しつつありました。会場は井汲大会長のお力で、柿落としとなるパシフィコ横浜ノースを押さえ、また当会ならではの、全研修施設発表会、7艘の船を借りての船上パーティー等、様々な企画が計画されていました。横浜コンシェルジュの方ともミーティングを重ね、参加者が横浜の街を楽しめるよう、趣向を凝らしたイベントも計画していました。さらに田中実行委員長の下、実行委員の水口先生、熱田先生、岩本先生のご尽力により、2019年末の段階で過去にない数の協賛企業と協賛金が集まり、学術委員の先生方も驚かれるほどでした。

ところが新型コロナウイルス感染症の広がりにより、その状況は一変しました。中止も検討される中、井汲先生、田中先生のお力と熱意により、会員の不利益となる中止という事態は免れ、史上初のオンライン開催という形式で開催されることになりました。他の全ての支部学術大会が中止となったことから、インプラント学会執行部が中心となった形式となりましたが、田中会長のお力のお陰で、予定されていたほとんどの国内演者はそのままオンライン講演を快諾して下さるとともに、Doctorbook による綺麗で

見やすく安定した開催方式が実現しました。媒体がDoctorbook となったことで、オンライン企業ブースやオーラルスキャナーコーナー、歯科衛生士コーナー等様々な企画も実現できました。新たに運営委員が組織され、プログラムの作成を急ピッチで行いました。

2020年の拡大委員長会議の際に皆で目標に立てた、当会会員による50題のポスター発表も実現し、改めて田中会長を中心とした当会の結束力の強さと実力を内外に示すことができたと思います。ある学会理事の先生からは、オンライン開催だったからこそ、これまで講演時間が重なってしまい聴けなかった講演も聴くことができ、コロナ関係なく素晴らしい学術大会だった、今後もこの方式で良いのではないかとお褒めの言葉を頂きました。このコロナ禍において、多くの学会がオンライン開催となる中、50回記念学術大会が市民公開講座を含めて7000名以上の参加者を集め、歴史に残る大成功を取めたことは、まさに井汲先生、田中先生のご努力の賜物です。私共 CISJ 会員としても、大変嬉しく誇らしく思います。本学術大会を通じて更に名声の高まった当会の、今後益々の発展を祈念するとともに、その発展に少しでも寄与できるよう微力ながら尽力して参りたいと存じます。

50回記念学術大会にてご発表下さった会員の先生方、ご参加下さった皆様方、誠にありがとうございました。

